

～日本タイ修好 130 周年～ 「タイ経済ミッション」



2017 年はタイと日本の修好 130 周年に当たるため、9 月 11 日から 13 日まで世耕弘成経済産業相と共に経済ミッション団 600 名がタイを訪問しました。これは 6 月にソムキット副首相らが訪日しタイ投資シンポジウムにて東部経済回廊（EEC）を説明するとともに、経済産業省と東部経済回廊及び産業構造高度化に向けた協力に関する覚書を交わしたことを受けてのことです。今回はこの経済ミッションをレポートいたします。

経済ミッション団は 9 月 11 日に首相府にてプラユット首相を表敬訪問し世耕経産相は両国の関係をより強固にすると述べ、プラユット首相はミッション団 600 名の前で東部経済回廊（EEC）で推進しているインフラ等の整備計画並びにタイでの産業の高度化、人材の育成等について説明し、日本からの投資を強く訴えました。またプラユット首相が 600 名もの表敬訪問を受けたのは異例中の異例とのことです。



同日、経済ミッション団は日タイ修好 130 周年記念レセプションに参加しました。このレセプションへは世耕経産相、ソムキット副首相、スウィット大臣、ヒランヤ BOI 長官らも出席しました。



9月12日はシンポジウムが開催され経済ミッション団を含み1300名が参加しました。世耕経産相は日本政府が新しい産業革命として打ち出したIoT（モノのインターネット）やAI（人工知能）などの発達を支援する戦略「コネクテッドインダストリーズ」のアジアで初めてのパートナーとしてタイとの連携を推進したいとの意向を示し、またソムキット副首相はタイはASEANのハブであるとの考えで、タイの産業の高度化には日系企業からの技術協力が必要との意向を示しました。

また、タイ商工会議所、タイ工業連盟と日本経済団体連合（経団連）、バンコク日本人商工会議所の間でタイの10の重点産業の推進の協力に関する覚書が交わされました。

午後からはタイの企業等240社との商談会が開催され経済ミッション600名が参加しました。

9月13日には経済ミッション団はEECを視察した後、ウタパオ国際空港、イースタンシーボード工業団地、レムチャバン深海港等を視察後バンコクにて解散となりました。

次回はEEC（東部経済回廊）のインフラ整備についてレポートいたします。

【岡山県タイビジネスサポートデスク】

<<日本国内デスク（株式会社アークビジネスサーチ内）>>

【所在地】：東京都千代田区神田小川町1-11-8 大竹ビル7階

【担当者】：志賀 敦（しが あつし）

<<タイ/バンコク現地デスク（ARK ENTERPRISE CO., LTD. 内）>>

【所在地】：138 Boonmitr Bldg., 3rd Floor, Rm. A2, Silom Rd., Suriyawong, Bangrak Bangkok, 10500 Thailand

【担当者】：福田 淳（ふくだ じゅん）

※デスクのご利用にあたっては、まず岡山県産業企画課マーケティング推進室（086-226-7365）へご相談ください。